



東三河生態系ネットワーク協議会

「生態系ネットワーク協議会」をもっと知っていただくために・・・

◆「生物多様性」は、なぜ重要なのか？

・地球には多くの生きものがお互いに関係し合い、様々な生態系を作って生息生育しています。私たちの暮らしや産業は、生物多様性が守られた**自然からの恵み**によって支えられており、**持続可能な社会**を作るために生物多様性は不可欠なのです。

◆協議会に参加するメリットは？

- ・協議会活動への参加は、「SDGs」(持続可能な開発目標) 達成への**取組の一環**となります。
- ・保全活動等に参加することにより、様々な団体との**連携・交流の機会**が増えます。
- ・自然環境保全や地域貢献に積極的な団体として、**企業・団体価値の向上やイメージアップ**につながります。
- ・地域の自然に触れる機会が増え、社員の**健康増進や意欲の向上、地域への愛着の深まり**などの効果が得られます。
- ・協議会活動などを通じて地域の自然環境が守られることにより、自然災害に強い地域であり続けることができ、この地域で**安心して事業を継続、展開**できます。



◆どのような参加・協力の仕方があるのか？

- ・可能な範囲で、当協議会が主催する**イベント**への参加協力等をお願いできれば幸いです。
- ・**活動資金や物資の寄付**という形での参加も大歓迎です。(イベントのチラシやHPなどで紹介します!)



参加団体の声

東三河生態系ネットワーク協議会では、様々な情報交換や所属団体との横の繋がりをつくることができます。どこの団体さんがどんな取り組みをし、どんなアイデアで活動しているかを知って皆さんの団体の運動や活動に活かしてみたいかがでしょうか。一緒に、東三河のより良い未来を語り拓いていただけたら幸いです。

NPO法人朝倉川青水フォーラム
理事長 大谷忠興

東三河生態系ネットワーク協議会に参加しませんか？



★こんな活動をしています★

- 自然観察バスツアー
- 公開フォーラム
- 参加団体活動見学会
- 生物多様性モニタリング調査
- その他



★仲間を求めています★

- 自然環境に関心のある団体
- 地域に貢献したい団体
- 地域で活躍したい団体

※入会金・年会費は不要です。



★現在の参加団体数★

(2021年3月現在)

合計 24 団体

【内訳】

大学等 3、企業等 5、
NPO 等 11、行政 5

【東三河生態系ネットワーク協議会 設立経緯】

2010年10月、愛知・名古屋で開催されたCOP10以降、市民、企業、NPO、行政など地域の様々な主体が連携し、地域本来の自然環境を保全・再生する取組が進められています。その主要な取組の一つが、県内9地域で設立された「生態系ネットワーク協議会」の取組です。

東三河エリアには、東三河・渥美半島・新城設楽の3つの協議会があり、豊橋・豊川・蒲郡をエリアとする「東三河生態系ネットワーク協議会」は平成26年2月に設立され、生物多様性保全の啓発、自然観察バスツアー、地域住民を対象とした公開フォーラム、参加団体活動見学会、生物多様性モニタリング調査などの活動を展開しております。今後、協議会の活動をさらに活性化させ、生物多様性が守られた豊かな自然を将来に引き継いでいくとともに、参加団体の皆さまとの交流・連携を深めていきたいと考えています。

協議会の趣旨にご賛同いただき、活動へご参加・ご協力いただければ幸いです。

東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク形成ロードマップ

穂の国いきものがたり 子どもたちへ 水と緑でつなげよう
【生態系ネットワーク形成の方針基本的な取組方向】



● 固有種の宝庫である神々の山を再生する

県を越えた連携を図り、希少な動植物の生息環境を保全すると同時に、緑地を分断する場所での連続性の確保などを通じて、保全と質の向上を行う。

- ➡ 固有種の生息生育環境の保全
- ➡ 里山の管理と質の向上
- ➡ ため池の生物生息生育空間の保全

● 山と海をつなぎ人と自然をつなぐ、豊富な河川を取り戻す

山と海を、自然とまちを、水と緑でつなぐ豊富な河川と河畔林。生態系ネットワークの大動脈の保全と質の向上に取り組む。

- ➡ 河川の連続性の確保
- ➡ 農地周辺の生物生息空間の保全
- ➡ 河畔林の保全・再生

● いにしえから栄える、まちなかに自然を呼び込む

市街地の社寺林、学校や企業敷地などの自然を守り育てることで、周辺の山や川から生きものを呼び込み、身近にふれあえる自然のネットワークを形成する。

- ➡ 学校・園庭のビオトープ化
- ➡ 社寺林の保全と質の向上
- ➡ 市街地における在来種緑化の推進
- ➡ 企業緑地の保全と質の向上

● 身近な里海・三河湾をよみがえらせる

「三河湾環境再生プロジェクト」との連携を図るとともに、干潟の生物多様性への悪影響が想定される外来植物の除去に取り組む。

- ➡ 干潟や藻場の保全
- ➡ 外来種の駆除

● 世界とつながる、崖森と砂浜をまもる

アカウミガメや渡り鳥など世界中を移動する動物の拠り所となっている貴重な砂浜と崖森を保全する取り組みは、生きものを通じて世界ともつながる。

- ➡ 砂浜の保全
- ➡ 崖森の保全・質の向上

● シンボルとなる生きもの ●

- 【海】 スナメリ・アカウミガメ
- 【川・池】 ヨシトンボ
- 【森】 シイ・カシ林-アオバズク

● 東三河地域のポテンシャル ●

- ・ 相互扶助の根付く風土
- ・ 積み重ねるいにしえの歴史
- ・ 遠州灘、三河湾、豊川…多様な自然からの恵み
- ・ 固有種の宝庫



東三河生態系ネットワーク協議会

<事務局> 東三河懇話会 事務局内
所在地：豊橋市駅前大通 3-53 太陽生命豊橋ビル 2 階
電話：0532-55-5141 FAX:0532-56-0981
E-mail：seitaikei@konwakai.jp

東三河生態系ネットワーク協議会 参加申込書

年 月 日

企業・団体名			
所在地	〒		
役職		代表者氏名	
電話		E-mail	

※FAX または E-mail にて事務局までお送りください。 ※「個人」での参加申込は受付していません。